

令和5年度 社会福祉法人 南山城学園 法人本部 事業計画

基本方針	事業計画 (Plan)			
	項目	内容[数値・実施時期等]	ネクストビジョン	実施時期
1 事業 基盤 の 強化	(1)ライフステージ全般にわたる支援モデルの構築	乳幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じた支援モデルの構築に向け、各事業所間の支援メソッドの汎化と応用、アセスメントツールの共通化などを進める。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)報酬改定への対応	令和6年4月のトリプル報酬改定(診療・介護・障害)に向けて、情報収集や対応準備を進める。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(3)生産性の向上	先進技術を積極的に取り入れ、利用者の事故予防など安全面での活用、間接業務の効率化を図る。	経営資源の有効活用	年間通じて
2 地域 への 貢献	(1)共生のまちづくりへの参画	コロナ禍で顕在化した孤独・孤立などの複合的な地域課題に対して、住民組織、企業、NPO、自治体等と連携し、社会福祉法人の役割と機能を活かし有機的に貢献する。	創造性の発揮	年間通じて
	(2)スーパーバイザーの対外的活動検討	令和5年4月に設置するスーパーバイザーについて、他法人への支援など対外的な活動を推進する。	創造性の発揮	年間通じて
3 サー ビス の 質 の 向 上	(1)権利擁護の強化	サービス向上PJによる実地調査やセルフチェックの実施、不適切なケアの早期発見と事例共有等を通じ、権利擁護・虐待防止に係る更なる体制整備を推進する。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(2)リスクマネジメントの強化	本部リスク委員会を中心とした安心・安全への取り組みにより事故低減を更に目指す。また、大規模災害を想定したBCP(事業継続計画)を強化する。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(3)成年後見人選任のサポート	障害者施設利用者および保護者の高齢化に対応するため、成年後見人の選任を積極的にサポートし、財産管理・身上監護における本人の利益保護を図る。	暮らしの質の向上	年間通じて
4 職 員 の 質 の 向 上	(1)人材の確保	(新卒)インターンシップなど幅広い採用活動を展開(中途)一般職制度の見直し、外国人採用の検討	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)人材の育成・定着	離職防止の観点から、より柔軟な人事制度を検討する。また、社会福祉連携推進法人を活用した他法人との人事交流、研修の共同開催などに取り組む。	経営資源の有効活用	年間通じて